

搬出間伐作業の効率向上を目指して

(農林センター 森林技術センター)

利用間伐現場における人・機械の組み合わせや動き、相互連携の実態調査の結果をもとに、作業効率向上化のための冊子を作成しました。

京都府内の搬出間伐における主な作業システムと平均労働生産性

伐倒:	ハーベスタ (チェーンソー併用)	チェーンソー	チェーンソー	チェーンソー
木寄せ集材:	ハーベスタ	スイングヤーダ	グラップル (ウインチ付)	林内作業車
造材:	ハーベスタ	プロセッサ (チェーンソー併用)	チェーンソー	チェーンソー
集材搬出:	フォワーダ (クローラダンプ併用)	ダンプトラック (林内作業車併用)	フォワーダ (クローラダンプ併用)	クレーン付トラック
労働生産性:	5.5m ³ /人・日	3.7m ³ /人・日	3.3m ³ /人・日	1.6m ³ /人・日

※斜体文字は高性能林業機械

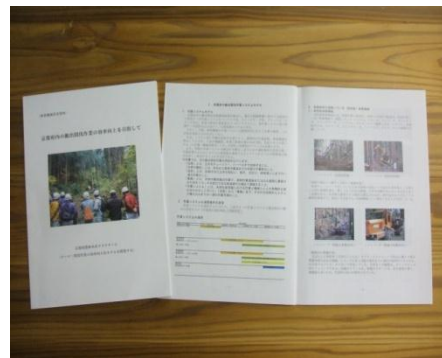
※労働生産性は作業員1人が1日当たりで伐倒から搬出した材積に換算し数値化



ハーベスタによる造材状況



フォワーダによる運搬状況



効率向上のために作成した冊子

- 京都府内にも高性能林業機械が導入され、徐々に定着している段階
- 一番高効率な作業は高性能林業機械による造材
- 高性能林業機械の作業待ち時間が比較的多いことが判明

- 高性能林業機械による造材の作業待ち時間をなくすように、段取りを考えて、周知徹底することが重要です。
- 作業後のコスト・生産性の管理を行うことが、効率向上のための意識付けや作業の熟練につながります。
- 新しく高性能林業機械を導入する場合にも、判断資料として活用できます。